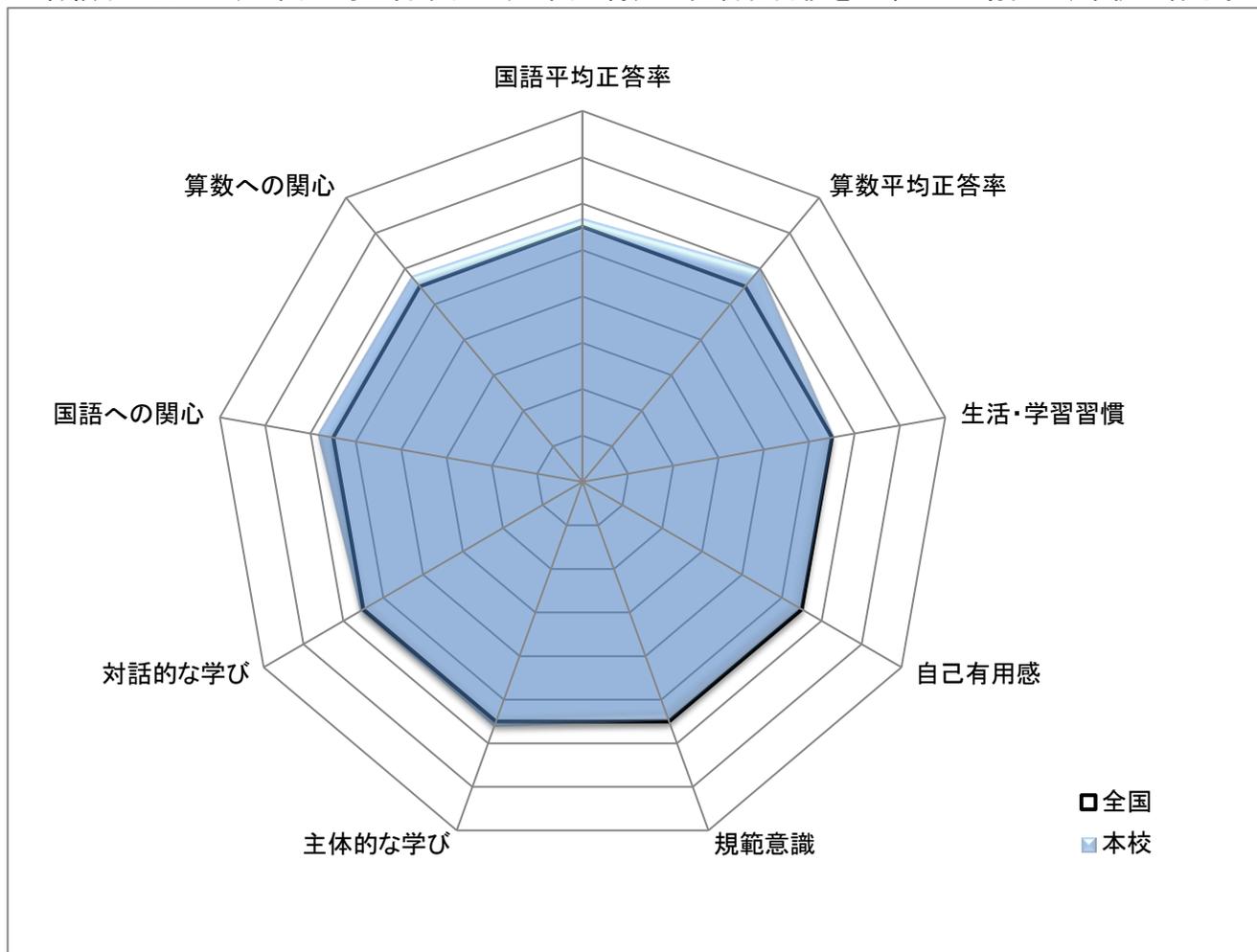


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語・算数の平均正答率は全国平均を上回っているだけでなく、全国平均より高い水準にある東京都の平均も上回っている。また算数・国語の関心も同様である。生活・学習習慣等の領域も自己有用感が全国平均と同じである以外は全て全国平均を上回っている。

《授業改善のポイント》

国語、算数の平均正答率やその他の各領域も基本的に満足いくものであるが、国語や算数への関心が高いことを生かして、これからの授業で「主体的な学び」や「対話的な学び」を今以上に進展させる授業をデザインしていく。また全体としては様々な領域で高い水準を示しているものの、QU検査などでわかった個々の児童の特性を考えた授業プランもさらに充実させていく。

《チャートの特徴》

自己有用感は全国平均と同じであるが、その他の領域は全て全国平均を上回っている。特に算数平均正答率や、算数・国語への関心は全国平均に比べてかなり高いと言える。

《家庭・地域への働きかけ》

夏季休業中に、個別指導を学年で実施したり、個人面談で学力について資料を示して学力への関心を高めたりしている。また従来から行っている、家庭での自習学習をさらに主体的にすすめられるよう働きかけた。